

健康保険の観点から眺めた情報化方向性

尹ソクジュン 審査評価研究所長



最近保健福祉部は医療法改訂(案)を用意して去る 10月に立法予告したが、診療情報交流の国家保健医療情報標準化及び健康情報保護及び活用に関する法案を制定して今年中に国会に提出すると言う。これは政府の '規制改善中心の投資活性化対策' 中の保健医療分野の '医療-ICT融合サービスのための制度整備及び医療情報インフラを構築' という政策的方向から始まったことである。

外国の関連政策動向を見れば、EUでは保健医療情報通信技術(information and communication technologies、ICT)に対する関心が高く、相当以前から国家的次元で周期的な調査を進行して来た。また、最近 OECDでは器具ネフエワングックドルを対象に医療機関の保健医療情報通信技術利用現況に対する実態組調査を進行しており、今後の WHOとの共助を通じて医療機関の保健医療情報活用拡散のために努力している。我が国の保健医療情報通信技術に対する OECD の調査は 2014年1月に仕上がる予定である。また、アメリカ、日本などでは情報通信技術 (ICT) を活用した医療サービスを国家別に部分的または制限的に許容していると言う。我が国でも情報通信技術 (ICT) を保健医療分野で活用する '医療サービスの便宜性(または接近性) 増大及び普遍的質向上' という主旨で一部専門家からその必要性が申し立てられた事があるが、政策的観点で明らかな成果をおさめることができなかった。この時点で '情報化(informatization)' が健康保険及び保健医療体系に今後の及ぶ影響に対して多様な観点の考慮が必要と考え、今号の政策動向では '健保と情報化' に関する 4編の論文を載せた。

一番目の文は保健福祉部保健医療情報化チーム長が国家保健医療情報化に関して今後の政策方向を提示している。政府の立場で国際的競争力がある保健医療体系を具現するための保健医療サービスと情報通信技術の融合の必要性を強調し、需要者オーダーメイド型医療サービスで発展するための具体的な政策方向に対して述べた。二番目の文は情報通信室長が審評院の情報化推進現況及び今後計画を提示した。価値基盤医療体系強化を裏付ける情報化、医療機関間診療情報交流を促進する情報化、新しい価値創出のためのビッグデータ活用など具体的な業務計画に対して提示した。韓国情報化振興院からはビッグデータの新しい可能性を提示し、データ基盤情報化に関して紹介し、保健医療分野での可能性及び大切さに対して主に言及し、ビッグデータ分析に基盤を置いた保健医療情報化を通じて新しい価値創出中心を述べた。四番目の文では韓国電子通信研救援専門委員が ICT 基盤情報化体系方向を提示して政策を実験するデータ空間という概念で具体的なモデルとシミュレーション事例を紹介した。